



平成23年11月9日

各 位

上場会社名 ケンコーマヨネーズ株式会社  
代表者 代表取締役社長 炭井 孝志  
(コード番号: 2915 東証第二部)  
問合せ先 取締役 村田 隆  
電話番号 03-5962-7777

## 平成24年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成23年5月10日に公表いたしました平成24年3月期第2四半期累計期間(平成23年4月1日～平成23年9月30日)の連結業績予想及び個別業績予想と、本日開示の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異

##### (1) 連結業績予想との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 26,000	百万円 900	百万円 800	百万円 370	円 銭 26.04
実績値 (B)	25,846	952	935	498	35.07
増減額 (B-A)	△ 153	52	135	128	—
増減率 (%)	△ 0.6	5.8	16.9	34.7	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期累計期間)	25,434	1,528	1,492	822	64.95

##### (2) 個別業績予想との差異

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 21,950	百万円 620	百万円 300	円 銭 21.11
実績値 (B)	21,976	825	451	31.78
増減額 (B-A)	26	205	151	—
増減率 (%)	0.1	33.2	50.5	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期累計期間)	21,324	1,297	732	57.86

## 2. 差異の理由

売上高につきましては、連結・個別ともにほぼ予定どおり進捗いたしました。

利益面につきましては、穀物相場をはじめとする原料価格高騰への対策として、全部門において事業計画の見直しや活動経費の徹底的な削減等により吸収を進めて参りました。また国内の原料事情につきましても、東日本大震災直後は原料価格が高騰しておりましたが、夏場以降は平常時の水準にまで落ち着きを見せた事も利益水準の回復に寄与いたしました。その結果、当第2四半期累計期間における連結営業利益及び連結経常利益並びに個別の経常利益はいずれも平成23年5月10日に公表しました業績予想数値を上回って進捗いたしました。

また四半期純利益につきましては、期初においては東日本大震災の株式市場への影響が大きく、先行き不透明であった事による投資有価証券の減損等の特別損失の発生を想定しておりましたが、確定いたしました特別損失による影響は軽微でありましたことにより、連結・個別ともに平成23年5月10日に公表しました四半期純利益予想を上回る進捗となりました。

一方、平成23年5月10日に公表いたしました平成24年3月期通期業績予想の数値につきましては、連結・個別ともに変更しないことといたしました。理由につきましては、以下のとおりであります。

当社グループにおきましては、東日本大震災の影響下での緊急対応として上半期に実行予定であった事業計画を凍結しておりましたが、事業計画の一部については当連結会計年度末までの実施を検討しております。また先の定時株主総会において7名の新任取締役の承認をいただいております。この新しい経営体制のもと、次期を初年度とする新中期経営計画の策定に着手しており、スタートに向けての取り組み費用等が発生することも想定しております。現在進めております中期経営計画『KENKO Victory ROAD 2011』の目標の完全達成及び新中期経営計画による更なる飛躍に向けての取り組みを進めて参ります。

今後、業績予想に修正の必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上